

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（市町総括表）

【単独事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	おもちゃのまち未来構築事業	総事業費				2,792,004	3,000,000	5,792,004
		うち市町支出額				2,748,370	3,000,000	5,748,370
		うち県交付金				1,374,185	1,500,000	2,874,185
2	壬生まちなか創生事業	総事業費		1,000,006	1,010,236	1,132,339	400,000	3,542,581
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	250,000	3,250,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
3	おもちゃのまち創生事業	総事業費		1,000,006	1,000,007	1,000,418	250,000	3,250,431
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	250,000	3,250,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
4	壬生町情報発信拠点推進事業	総事業費		2,400,008	2,401,000	1,032,705	1,201,000	7,034,713
		うち市町支出額		2,400,000	2,400,000	1,032,310	0	5,832,310
		うち県交付金		1,200,000	1,200,000	516,155	0	2,916,155
5	みぶの日開催事業	総事業費		600,001	600,000	600,000	600,000	2,400,001
		うち市町支出額		600,001	578,017	600,000	600,000	2,378,018
		うち県交付金		300,000	289,009	300,000	0	889,009
6	郷土の偉人顕彰作業	総事業費		2,793,324	2,799,014	2,000,000	3,000,000	10,592,338
		うち市町支出額		2,793,324	2,799,014	1,998,423	3,000,000	10,590,761
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	999,211	0	2,999,211
7	国際観光推進事業	総事業費	751,180	750,000	750,000	81,000	81,000	2,413,180
		うち市町支出額	750,000	750,000	750,000	81,000	81,000	2,412,000
		うち県交付金	375,000	375,000	375,000	0	0	1,125,000
8	みぶブランド認定事業者促進事業	総事業費	1,000,001	1,000,005	750,004	500,000	500,000	3,750,010
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	750,000	500,000	500,000	3,750,000
		うち県交付金	500,000	500,000	375,000	0	0	1,375,000
9	壬生お殿様料理促進事業	総事業費	533,921	1,200,005	1,065,701	500,000	500,000	3,799,627
		うち市町支出額	500,000	1,200,000	750,000	500,000	500,000	3,450,000
		うち県交付金	250,000	600,000	375,000	0	0	1,225,000
10	第18回全国藩校サミット壬生大会	総事業費	13,826,235					13,826,235
		うち市町支出額	5,801,845					5,801,845
		うち県交付金	2,900,922					2,900,922
市町計		総事業費	16,111,337	10,743,355	10,375,962	9,638,466	9,532,000	56,401,120
		うち市町支出額	8,051,845	10,743,325	10,027,031	9,460,103	8,181,000	46,463,304
		うち県交付金	4,025,922	4,975,000	4,614,009	4,189,551	1,500,000	19,304,482

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単事業調査）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち未来構築事業
事業主体の名称	壬生町観光協会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的：「観光事業の発展」と「魅力あるふるさとづくり」を進め、「地域住民の福祉向上」と「地域産業の振興及び郷土文化の発展」を図る 設立年月日：昭和63年2月 構成員等：加入を希望する町内事業者及び個人
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃのまち地区は、玩具メーカーが集積する「おもちゃ団地」と周辺の住宅地及び商店街等で成り立つ、本町の中心市街地であるが、企業の海外流出、及びロードサイドにおける大型商業施設の進出等の影響から、「らしい活気」が失われつつある。
事業目的	一住宅地として埋没しつつある本地区を、全国的にも珍しい町名として認識されつつある「おもちゃのまち」として、地域ならではの特色を活かした街並みづくりを進めるとともに、回遊性の向上に資する事業展開及びPR強化を図ることで、住みたい、働きたい、自分の誇りと思える街へとベクトルを軌道修正し、次代における街の担い手確保に努める。 特に、本地区で誕生した数々のおもちゃ達が、日本全国はもとより、世界各地において子どもたちの夢、希望、幸せを作り続けてきた歴史を、地域の子どもたちが日常的に認識でき、地域に対する愛着や誇りの醸成が図れる観点で、事業進捗を図って参りたい。
事業概要	<p>【1. らしい街並みづくり推進事業】</p> <p>地域活性化の担い手であるおもちゃのまち遊園地創生ワーキング（R3～5わがまちつながり構築事業補助対象事業者）、及びおもちゃ団地協同組合等と連携し、「おもちゃのまち恋」あふれ、来訪者の満足を得られるコンテンツを街の各所へ配置した。 ワーキングや他事業で実施してきたコンテンツとともに、おもちゃのまちらしい街並みづくりをより一層推進した。</p> <p>A 実施中事業</p> <p>①商店街ラッピング設置 ワーキングで作成、設置 ②ガンダムマンホールプロジェクト 機バンドイ等と連携し、ここにしかない2基のガンダムマンホールを設置</p> <p>B おもちゃのまち駅・おもちゃのまち推進事業</p> <p>本地区の拠点である、おもちゃのまち駅及び周辺において、以下を実施した。 ・おもちゃ団地立地、関連企業のおもちゃ、キャラクターをモチーフとしたエレベーター等（※）ラッピング （※）エレベーターの他、案内看板、駅名看板、休憩所等をリストアップ 今後、地域団体（おもちゃ団地）、会社、地域団体（おもちゃ団地）、及び管理者（東武鉄道等）と調整の上、決定する。 ※おもちゃ博物館キャラクター「壬生ちゃん」を掲載予定 【追加】エレベーター等のラッピングを検討する中で、東武鉄道から駅舎のラッピングについて提案があった。 地域団体等とも検討した結果、本事業の趣旨に合致することから、東武鉄道と共同で実施する。 ・イベント告知等に使用するポスターラック設置</p> <p>【2. 地域、事業者と連携した回遊性向上、PR促進事業】</p> <p>A 実施中事業との連携強化</p> <p>①東武健康ハイキング（東武トップアース事業）における連携強化 ・1. らしい街並みづくり推進事業等で充実させたおもちゃのまち地区において、回遊ルートを設定し、「おもちゃのまちに来た感、おもちゃのまちに来よかつた感」を向上させ、もつと回つてみようか感を生み出すとともに、SNS等への掲載を促し、地区のPRへと繋げる。 ②おもちゃ団地チャリテイバザーとの連携強化 ・町内外から多数の来客が訪れるイベントにおいてプロモーション活動を強化し、地区内回遊を促す。 ・イベントにおいては毎回交通渋滞が発生することから、駅周辺等への誘導等により、混雑の分散化を図る。</p> <p>B おもちゃのまちインスタフォトコンテスト</p> <p>おもちゃのまちの魅力を知ってもらおうと、地区のPRに繋げることを狙う。</p> <p>C おもちゃのまち・道の駅みぶスタンプラリー</p> <p>おもちゃのまち、及びシルビアファミリーをモチーフとして看板表記等のリニューアルを進めている、日本一大きな道の駅みぶが各所にポイントを設け、回遊性向上を図る。 いちごラッピング電車、みぶーぶ（町コミュニティバス）の活用も計画する。</p> <p>【3. 小中学校の児童生徒・地域事業者連携事業】</p> <p>A 次、おもちゃのまちに必要なツールとは？さらに構築してみよう</p> <p>エレベーターラッピングは、おもちゃ団地協同組合と地元小中学校とが実施した、おもちゃのまちの未来を考える授業の中で提案され、本事業の中で実施した。また、地元中学校においては、クエストエデュケーション（総合的な学習）で築いた事業者との繋がり、学んだマーケティング等を踏まえて、お菓子の商品化を実現した。これらに引き続き、子供たちと地域事業者との連携により、「おもちゃのまちにあった良いな」を検討、実施。</p> <p>【翌年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に実施した内容を踏まえ、事業を継続する。 おもちゃのまち駅ラッピング事業を東武鉄道と連携して実施予定。 おもちゃのまちチャリテイバザーを実施予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】壬生町へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>【KPI】 町内の東武鉄道駅乗降客数 7,045人（H30）→7,300人（R7）</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

事業内容		令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
		2,792,054	3,000,000	5,792,054	183,000
事業費	市町支出金 （ソフト事業分）	2,748,370	3,000,000	5,748,370	183,000
	うち県交付金	1,374,185	1,500,000	2,874,185	
	市町支出金 （ハード事業分）	0	0	0	
	うち県交付金	0	0	0	
その他自主財源等	0	43,684	0	43,684	0

市町担当情報

担当課名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち未来構築事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	2,748,370	
観光協会費	43,684	
計	2,792,054	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	0			0	
2. 広告費	0			0	
3. 印刷製本費	2,292,054	2,248,370	1,124,185	43,684	エレベーターラッピング印刷費
4. 委託料	0			0	
5. 負担金	500,000	500,000	250,000	0	東武宇都宮線ラッピング負担金
				0	
計	2,792,054	2,748,370	1,374,185	43,684	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生・まちなか創生事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,000,000	
協賛金	132,000	壬生流ふくべたちのハロウィンナイトイベントにおける協賛金
預金利息	339	
計	1,132,339	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
1. 消耗品費	156,486	24,147	12,074	132,339	ハロウィンナイト経費等
2. 印刷製本費	41,486	41,486	20,743	0	ハロウィンスタンプラリー、桜散策マップ等
3. 保険料	8,090	8,090	4,045	0	ハロウィン保険料
4. 使用料及び賃借料	40,000	40,000	20,000	0	ハロウィン等土地使用料
5. 旅費	0	0	0	0	
6. 委託料	628,750	628,750	314,375	0	各種イベント警備委託料等
7. 工事請負費	167,200	167,200	83,600	0	城址公園ライトアップ工事費
8. 燃料費	727	727	363	0	ハロウィンナイト経費
9. 修繕料	39,600	39,600	19,800	0	ハロウィンナイト会場窓修繕料
10. 負担金	50,000	50,000	25,000	0	とちテレアニメフェスタ負担金
計	1,132,339	1,000,000	500,000	132,339	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生・まちなか創生事業
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	会長 水井正行
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：旧城下町壬生を中心とした「壬生まちなか」の活性化 ・設立年月日：平成29年6月 ・構成員等：商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	ロードサイドの発展とは裏腹に、旧市街地である壬生地区では空き店舗等が年々増加し、いわゆるシャッター商店街化が進んでいる。また、城下町ならではの魅力を発信しきれておらず、若年層の壬生離れが進んでいる。
事業目的	城下町壬生の魅力を発揮し、周遊観光の増進の下、「商店街の活性化」と「街の担い手確保」を推進する。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちなかでの経営可能性の確認、地域との人脈作り、そして空き店舗等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントとタイアップし、まちなか、空き店舗等のお試し活用を実施した。 ・地域の子供たちを対象とした各種イベントの開催、又はイベント支援を実施し、城下町壬生の理解増進及び魅力発信を図った。とちテレアニメフェスタに参加（5月実施） 壬生流ふくべたちのハロウィンナイトイベントを実施（11月実施） ・町において本年度整備に着手する、旧役場本庁舎チャレンジフース等の活用を目的に、各種事業者への情報提供及び意見交換等を実施した。 ・城下町地区への注目度を上げ、魅力再発見へと繋げる動画を作成した。 2. 空き店舗等の活用研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・本町の他地区、及び周辺自治体等での先進事例を研究した。 3. 翌年度移行の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度と同様な活動を継続するとともに、各種イベント開催等において学生（中高生等）ボランティアの活用をより一層図る中で、次世代との意見交換や担い手育成等に努める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】 壬生町における安定した雇用を創出する</p> <p>【KPI】 地域ブランド認定品目数 31件 (H30) → 40件 (R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位：円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗活用推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗等活用研修事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗等活用研修事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗等活用研修事業
事業費	1,000,006	1,010,236	1,132,339	3,142,581	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	250,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	10,236	132,339	142,581	150,000

市町担当情報

担当課名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち創生事業
事業主体の名称	おもちゃのまち遊々創生ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：おもちゃのまち地区の活性化 ・設立年月日：平成30年7月 ・構成員等：商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃ工場の集積地であるおもちゃ団地を中心に形成されてきた「おもちゃのまち」であるが、工場の海外移転等による空洞化や、地区内においては高齢化が進むほか、駅周辺の旧中心市街地の商店街では衰退化が進んでいる。
事業目的	<p>全国でただ一つ「おもちゃの博物館」が2つ（壬生町立おもちゃ博物館、おもちゃのまちバンダイミュージアム）立地し、全国的にも珍しい町名として認知されつつある「おもちゃのまち」の魅力を発信する中で、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>また、近年隣接地で展開されている六美町北部土地区画整理事業に伴う新たなまちづくりとの連携によって、誘客促進等を図る。</p>
事業概要	<p>1. 大型商業施設等を起因として発生した集客を、まちなかへ誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の日東武無料乗車デーとのタイアップ、及びバンダイミュージアム等への誘導イベント等を実施し、六美町北部地区からまちなかへの回遊性を向上させた。 ・観光協会によるおもちゃのまち未来構築事業と連携し、駅エレベーターラッピングに関する検討会の開催、お披露目式の支援等を実施。 ・とちテレアニメフェスタに参加し、おもちゃのまちをPRした。（5月実施） ・獨協医科大学病院等連携事業 <p>ホスピタルインを使用し、大学生やおもちゃのまち地区の事業者等による飲食イベントを企画。ホスピタルインの親会社である東横インへの訪問を実施。</p> <p>2. PR動画「ユメビト」作成</p> <p>「おもちゃづくりを通じて子どもの夢を作り続けたおもちゃのまちは、夢を追い続ける人たちを応援する街」だと定義づけ、おもちゃのまちの担い手を中心とした魅力ある人物をクローズアップしたPR動画「ユメビト」を作成した。</p> <p>3. 翌年度以降の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ワーキングメンバーの強味を活かし、おもちゃのまち地区内のスペース（駅前広場、ビジネスホテル敷地等）を活用した飲食イベントの開催等により、おもちゃのまち地区はもとより、壬生創生ワーキングとの連携を深め、城下町壬生のPR等にも資する活動を展開する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】 壬生町における安定した雇用を創出する</p> <p>【KPI】 地域ブランド認定品目数 31件（H30） → 40件（R7）</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・「ユメビト」発信事業 ・グルメマップ（誘客促進）増刷等	・「ユメビト」発信事業 ・グルメマップ（誘客促進）増刷等	・「ユメビト」発信事業 ・グルメマップ（誘客促進）増刷 ・周遊イベント準備、意見交換（商店、観光施設等を舞台とした婚活パーティの実施、及びホスピタルイン獨協医科大学病院を活用したイベントを検討）		・誘客イベント実施 ・グルメマップ増刷
事業費	1,000,006	1,000,007	1,000,418	3,000,431	250,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	250,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	7	418	431	0

市町担当情報

担当課名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち創生事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,000,000	
預金利息	418	
計	1,000,418	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	20,708	20,290	10,145	418	おもちゃのまち駅エレベーターラッピングお披露目会関係経費等
2. 印刷製本費	66,000	66,000	33,000	0	おもちゃのまちPRポスター作成費
3. 委託料	860,330	860,330	430,165	0	PR動画「ユメビト」作成費、周遊イベント検討業務委託
4. 旅費	3,380	3,380	1,690	0	獨協医科大学病院等連携事業（東横イン本社）出張旅費
5. 負担金	50,000	50,000	25,000	0	とちテレアニメフェスタ参加費
計	1,000,418	1,000,000	500,000	418	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町情報発信拠点推進事業
事業主体の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会
代表者の名称	会長 矢川 己三男
事業主体の所在	壬生町大字国谷 1 8 7 0 番地 2
事業主体の概要	<p>・団体の目的：道の駅みぶのイベント情報、町からの事務連絡、各店舗からの情報などを共有し、円滑な施設運営や各施設の連携を図り、道の駅みぶの賑わい創出を実践する。</p> <p>・設立年月日：平成31年4月1日</p> <p>・構成員等：みぶの路代表、YELL代表、みぶのやおやさん代表、(有)ケーハウスヒガノ代表、ストロベリーファーム代表、みらい館代表、栃木県民公園福祉協会、町施設振興公社、町商工会、町</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>道の駅みぶはみぶハイウェーパーク、とちぎわんぱく公園、壬生町総合公園、壬生町おもちゃ博物館からなる施設であり、高速道路に面したみぶハイウェーパークには、町内 2 0 社で構成された法人等による売店、町内飲食業者による食堂、町内生産者で多くの農産物を販売している農産物直売所、町内パティシエによるフルーツバーラーがあり、壬生町の特産品等の販売の拠点となっている。</p> <p>しかしながら、高速道路のPAとしての利用者にとっては、観光目的地への道中の立ち寄り所としての利用であるため、道の駅みぶの認知度が低く感じられる。</p> <p>また、道の駅みぶには、おもちゃ博物館やわんぱく公園等 1 日遊べる施設があるため、単なる立ち寄り場所ではなく観光目的地としてPRしていくために、道の駅の玄関口であるみらい館からおもちゃ博物館やわんぱく公園へ誘導するような、各施設と連携したイベントを実施する必要がある。</p>
事業目的	壬生町の産業振興、文化振興及び地域の活性化を推進すると共に町民相互の交流や来訪者への情報提供等を促進するための拠点施設として積極的にPRをし、認知度を高め、観光客入込数の増加や道の駅みぶの賑わい創出を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p>【1-d】参加・交流型</p> <p>令和元年度から2年度の栃木県わがまち未来創造事業では、「道の駅みぶ」の認知度を高めることを目的としていたが、高速道路の玄関口である「みぶハイウェーパーク」のみ来客者が多い状況であるため、栃木県わがまちつながり構築事業では、「道の駅みぶ」内施設の連携の強化により、「みぶハイウェーパーク」から他の施設へ誘導し、「道の駅みぶ」全体の関係人口の拡大を目指した。</p> <p>①賑わい創出イベント開催</p> <p>・道の駅みぶ来場者向上のため、ガチャガチャ抽選会（全27回）、みぶの日フェア（R7.3.2）等を開催し、来場者の向上及び滞在時間の拡大を図った。</p> <p>②連携イベント開催</p> <p>・とちぎわんぱく公園で行われるトマトのマルシェでのトマトすくいやトマトの直売等のイベント参加により、みぶハイウェーパークからとちぎわんぱく公園、おもちゃ博物館への誘導を図った。</p> <p>③PR活動</p> <p>・WebサイトやSNSを利用し、道の駅みぶの情報発信を行った。</p> <p>・町主催の「道の駅みぶ」第1期リニューアル工事完成記念式典に協力し、道の駅みぶのPRを行った。</p> <p>【令和7年度～】実施主体を指定管理者へ変更し、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標 2</p> <p>壬生町への新しい人の流れをつくる。</p> <p>【数値目標】みぶハイウェーパーク来訪者数 1,489,198人 (R3) →2,500,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動		①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動
事業費	2,400,008	2,400,008	1,032,705	5,832,721	1,201,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,400,000	2,400,000	1,032,310	5,832,310	0
うち県交付金	1,200,000	1,200,000	516,155	2,916,155	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	8	8	395	411	1,201,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町情報発信拠点推進事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,032,310	町補助金
雑入	395	預金利子
計	1,032,705	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	114,600	114,600	57,300	0	出演者謝礼
消耗品	913,573	913,178	456,589	395	イベント賞品、消耗品
印刷製本費	0	0	0	0	
広告費	0	0	0	0	
委託料	0	0	0	0	
通信運搬費	4,532	4,532	2,266	0	HPドメイン使用料
予備費	0	0	0	0	
				0	
				0	
				0	
計	1,032,705	1,032,310	516,155	395	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまちつながり構築事業計画書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名

壬生町

事業名

みぶの日開催事業

事業主体の名称

みぶの日実行委員会

代表者の名称

会長 櫻井 康雄

事業主体の所在

〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生甲3841-1

事業主体の概要

・団体の目的：毎年3月2日「32（みぶ）の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する
 ・設立年月日：平成27年12月
 ・構成員等：社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JAしもつけ壬生地区営農経済センターなど

当該事業に係る地域の現状と課題

本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用できていない状況が続いていることから、毎年3月2日「32（みぶ）の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。

事業目的

「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町を訪れた方に「ちょっと関わりたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、北関東周辺の関係人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。

事業概要

【令和6年度】
 事業名称：みぶの日フェア【1-d】参加・交流型
 開催日：令和7年3月2日（日）実施
 開催場所：とちぎわんぱく公園
 壬生町では、3月を壬生町PR月間に位置づけ、その核となる3月2日を「みぶ（32（みぶ）の日）」として、町の活性化を図っている。特に、3月第1週の日曜日を「みぶの日フェア」として、壬生町の魅力を町内外の方に感じてもらうため各種イベントを開催し、関係人口の拡大を目指す。
 ◆いちごだけのスイーツ祭り
 壬生町の特産であるいちごを使ったキッチンカー各種、みぶブランドのいちご大福の販売、いちご（青果）の販売、いちごオブジェの展示（栃木県農政課いちご王国より貸与）
 ◆町特産品かんびょうのPR
 ・特産品「かんびょう」の無料配布（農政課）
 ◆おもちゃのPR
 おもちゃ団地協同組合の株式会社トミーテック・株式会社クラウドによるおもちゃの販売・くじ引き
 ◆町特産品の販売
 ・農産物（いちご、トマト等）の販売、ニラの無料配布
 ・みぶブランド認定品の紹介・販売
 ◆ミナーちゃん、みらいちゃんとの写真撮影
 ◆タイアップ
 おもちゃ博物館無料開放／バンダイミュージアム入館料半額／大恐竜パーク入場料半額
 ◆Mibu like marcheによる出店（30店舗程度）
 ◆キッチンカー各種
 壬生町産の素材を生かしたメニューの提供
 ◆包括連携協定企業のブース
 【令和7年度】
 前年度の実績に顧み、継続的に実施

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

第2期壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる
 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人（H30）→3,895,496人（R7） 【R5実績3,203,356人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤ウエルカム企画（公共交通機関の利用促進） ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤ウエルカム企画（公共交通機関の利用促進） ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画	①町特産品を活用した料理の提供 ②町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画 ③町特産品の販売 ④町連携企業のPR		
事業費	600,001	600,000	600,000	1,800,001	
市町支出金（ソフト事業分）	600,001	578,017	600,000	1,778,018	
うち県交付金	300,000	289,009	300,000	889,009	
市町支出金（ハード事業分）				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	21,983	0	21,983	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書（単位事業収支予算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生の日開催事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	町補助金
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託費	485,430	485,430	242,715	0	会場設営（テント、机椅子等）
印刷費	98,670	98,670	49,335	0	ポスターB2×30枚（カラー） ポスターデータ・会場マップ データ
消耗品	4,290	4,290	2,145	0	セレモニー会場養生用テープ、 テブラカートリッジ、作業用軍 手
保険料	11,610	11,610	5,805	0	イベント保険料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	600,000	600,000	300,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業申請書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名

壬生町

事業名

郷土の偉人顕彰作業

事業主体の名称

「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会

代表者の名称

会長 寺内 進

事業主体の所在

栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33（壬生町立歴史民俗資料館内）

事業主体の概要

・団体の目的：「郷土の偉人」を顕彰する展示会等を開催し、その普及を図ることを目的とする。
 ・設立年月日：令和6年5月11日
 ・構成員等：大学講師、壬生論語古義塾生、地域おこし協力隊他

当該事業に係る地域の現状と課題

地域の特徴・現状・課題等（事業の内容と関連するもの）を記載
 壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から「郷土の偉人顕彰作業」を実施し、これまで「郷土の偉人」や「藩校」、「論語」といった壬生ゆかりの歴史を見出し、発信を行ってきた。これらの成果は観光や地域づくり等の「まちづくり」のほか、管内の学校教育現場にも取り入れられ、「人づくり」にも貢献してきた。
 幅広い世代に地域の歴史や魅力を浸透させることは難しく、今後も引き続きこれらの取組を継続して実施するこ

事業目的

事業の目的を簡潔に記載
 「郷土の偉人顕彰作業」を行い、その結果を企画展や講座で発表し、住民が地域に誇りと愛着を持てるよう啓発する。また、「聖地日光」にいち早く“日光ブランド”を立ち上げた、壬生のサムライ 守田兵蔵に関する展示や講座

事業概要

(1) 当該年度の実施内容
 平成29年度から令和元年の栃木県わがまち未来創造事業では、「郷土の偉人顕彰」や「論語大朗読」などの事業を実施し、壬生藩や壬生という地域の特色の発信を通じて、「シックプライド」の醸成を図ってきた。令和4年度からの事業においては、壬生藩や烏居家に関する事業を実施し、壬生のシックプライドのなかで重要な位置を占める旧市街地（旧城下町）の活性化に寄与するとともに、参加・交流する関係人口の拡大を図った。
 令和6年度は、現在、文化の力で地域を見つめなおし盛り立てる「地域ブランド」の開発が各地で盛んに行われていることをヒントに、明治初期「聖地日光」にいち早く“日光ブランド”を立ち上げた“旧壬生藩士 守田兵蔵”に焦点を当てた展示を実施した。
 ①企画展「壬生のサムライと日光ブランド - 聖地日光をアートプロデュースした男-」の実施
 ・会期：令和6年11月9日～12月22日
 ・場所：壬生町立歴史民俗資料館
 ・内容：「アートプロデューサーのバイオニア、守田兵蔵」に焦点を当て、地域おこしの原点に迫った。
 ②関連講座
 ・連続講座「聖地日光への道」をテーマに各専門の研究者が講義を行った。
 ・日時：令和6年5月18日から7回実施
 ・会場：壬生町城址公園ホール 研修室
 ③ギャラリートーク
 担当学芸員が企画展を見学しながら解説を行った（会期中の土曜日11/9,16,12/7,21）。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【関連人口】 - d 参加・交流型
 ・下記の新規取組を通じて、壬生町ゆかりの旧壬生藩士守田兵蔵の国内初の“地域ブランド”開発の歴史を踏まえ壬生町のPR
 各市町の戦略から抜き出して記載
 【基本目標】 壬生町創生総合戦略2、壬生町に新しい人の流れをつくる
 【数値目標】 観光客入込数 H30 3,709,996人→R7 3,895,496人【R4実績 2,663,882人】
 【KPI】 ホームページアクセス数 R1 36,283件/月→R7 40,000件/月【R4実績 51,368件/月】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①企画展「大名家の 献立 -文化二年壬 生御献立帳-」の開 催 ②関連講演会の開催	①企画展「家康と元 忠-伏見に散った忠 誠心-」の開催 ②シンポジウム 「家康への熱き忠義 心 -忠吉・元忠父子- 」の開催	①企画展「壬生のサ ムライと日光ブラン ド-「聖地日光をア ートプロデュースした 男-」 ②連携講座「聖地日 光への道」		①開館40周年記念 「海を越えた壬生の サムライ -アメリカ に渡った二人-」 ②関連講演会の開催
事業費	2,793,324	2,799,014	1,999,673	7,592,011	2,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,793,324	2,799,014	1,998,423	7,590,761	2,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	999,211	2,999,211	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	1,250	1,250	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支予算書）

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	郷土の偉人顕彰作業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	決算額	備考
町補助金	1,998,423	(交付金：栃木県わがまちつながり構築事業)
雑収入	1,250	利子等
計	1,999,673	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	50,000	50,000	25,000	0	講座謝金
印刷製本費	799,975	798,725	399,362	1,250	企画展図録(500部)・ポスター(200枚)・チラシ(3,000枚)
通信運搬費	599,698	599,698	299,849	0	資料集荷及び返却、保険等
委託料	550,000	550,000	275,000	0	展示のディスプレイ(パネル、キャプション、設営)制作
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,999,673	1,998,423	999,211	1,250	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合